

南白小の未来をえがく！

令和4年11月8日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第12号

3年社会科見学…府中の様々な場所をめぐり

給食をつくる機械に驚き



消防車の中の器具、すごい



昔の道具の話を



3年生の社会は、身近な暮らし（府中）について学びます。市内めぐりは大切な学習の基礎になります。給食センターで大きな機械を見て、自分たちのための給食を多くの方が支えていることを学びました。消防署では施設や消防車の中を見学して、24時間自分たちの暮らしを守る人々のありがたさ、そこで働く人たちの願いや苦勞・工夫について学びました。見学の中に2回緊急通報があり、出動する救急隊員の緊張感に、子供は驚いていました。そして、府中郷土の森博物館では、府中の昔（歴史）を感じました。お釜でご飯を炊いていたこと、おひつでご飯を保管していたことなど、真剣に聞いていました。本物体験のよさを感じることができた1日でした。本物（実物）体験は長期記憶に残ります。社会科見学のよさを感じました。

言語能力の向上…国語中心に

①言語能力、②情報活用能力（パソコンのスキル等）、③問題発見・解決能力、この3つの能力を各教科・領域を超えて身に付けることが、現在、求められています。

言語能力とは

全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となるものである。教師の説明、様々な資料等から新たな知識を得たり、事象を観察して必要な情報を取り出したり、自分の考えをまとめたり、他者の思いを受け止めながら自分の思いを伝えたり、学級で目的を共有して協働したりすることができるのも、言葉の役割に負うところが大きい。

1年国語…「語句の間違えを直す」…推敲する



誰が、間違いをさがせるかな



端末の画面で間違いをさがす

低学年では、「文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること」を書くことで学びます。くつつきの「を」、「は」、「へ」の間違え、小さな「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などを見つけて直していきます。



最後の練習も端末で

1人1台端末をふだんに使った学習でした。「Kahoot!」というアプリを使い、正しい書き方を選び、誰が早く正確に選択しているか、分かります。まるでクイズのような楽しい学習になっています。「Jamboard」というアプリで、示された文の間違えを見つけて言葉を直す作業をしました。そして正しい文を実際にノートに書き、自分で書く能力も高めました。

また、最後のまとめに「Google Forms」で確かめの問題の答えを選択していました。1年生ながらも端末を使いこなす子供たちの姿に、教育の指導方法の変革期を感じました。子供は、情報活用能力を身に付けることが速いと思いました。

次回は、同じ国語科の学習で言語能力について、他学年の学習で続きを書きたいと思います。